

令和7年度 第3回 防災・災害対策委員会 【議事録】

場 所： 建築士会 会議室 (Web会議併用)

日 時： 令和7年6月10日 (火) 午後6時30分～8時00分

出席者： 担当副会長 村島 ・ 担当常任理事 (玉野) ・ 事務局長 宮林

委員会： 有泉・深谷・中山・加藤・渡邊・(丹治)・高橋・(飯澤)・東・河原・(奈良)・(木下)・猪股  
(小檜山(オブザーバー))

議事録作成者： 東 ( ) 内は欠席 \_\_\_\_\_ オンライン参加

■18:30～20:00

**通 常 委 員 会**

委員長挨拶

小田原地方支部委員猪股正雄さんの紹介と猪股委員自己紹介

担当副会長挨拶【資料2①、③】

令和7年度8年度理事会体制報告

議題

前回議事録 (令和7年5月13日 対面・オンライン)

1. 士会災害対応体制・緊急連絡網について確認

・令和7年度 改正版災害時の体制案 【資料1】

未記入欄の追記及び修正

2. 各支部総会を含む支部の動向、様子(わかる範囲で) [全員]

横須賀支部 総会前に河原さんのセミナーを実施し、好評であった。参加した市の職員からもセミナー希望の要望があった。市には応急危険度判定士のリストを所有しているが各団体への開示は行われていないが、士会でリストが整えば市との共有を視野。市との関係性は良好。

県央支部 総会前に瓦屋根職人の松枝さんによる瓦屋根の災害対応についての講演を実施。講演の中で災害時ブルーシートの認定品を作ろうという動きがある。応急危険度判定士の集まりはない。また訓練もない。判定士の名簿公表に個人情報に抵触すると言う事で公表していない。

県庁職域支部 書面の資料配布及び見学会の企画を実施。

応急危険度判定については行政として出動する気でいる

川崎支部 キャラバン隊としての名簿作成はしている。参考訓練の呼びかけに対して30人程度が呼応。まちづくり局は、訓練について反応が薄い。

相模原支部 総会参加者は10名。キャラバン隊登録から相談員登録への移行を説明。市と士会の関係は良好。毎年、地区リーダーまでの伝達訓練、防災訓練での応急危険度判定の模擬訓練を行っている。

小田原地方支部 震度6以上の地震が発生した場合は、避難所(体育館など)に、行政担当者、判定士2名、地域担当者が参集する取り決めになっている。

「防災の日」の行事として、年度毎で実施避難所をかえて応急危険度判定の模擬訓練を実施。

中支部 秦野市では、小田原市と同様所定震度以上の地震が発生した場合は、所定の場所に参集する。

秦野市では、震度5強以上の揺れを観測した場合、避難所開設前に応急危険度判定を行うことになっており、担当判定士が各自現地に自動参集し、避難所開設の可否のための判定を行う。毎年1回秦野市総合防災訓練の時に自主訓練を行っている。

3. 支部総会での災害時相談員の説明の報告[河原さん] 【資料2】

中支部・横須賀支部 支部総会【建築士相談員】説明 抜粋

4. 7月4日セミナー「能登半島地震をどう捉えるか」について、役割分担[東さん] 【資料3】
5. トヨクモお試しについて【資料4】

安否確認サービスとした方が分かり易いのではないか? ←村島  
資料4の設問事項について次回会議までに考えてきていただきたい。 ←有泉
6. 5/20開催、神奈川建築会議(防災・対策委員会)報告[河原さん]

6/13 合同会議 6/25 10時 被災住宅建築士相談員の地域リーダー候補者WEB会議を実施予定。
7. 6/10開催、土業連絡協議会報告

出席者：宮林氏、有泉氏、河原氏  
能登半島地震被災者のための専門家チームによる第4・5・6回説明会・個別相談会報告集 【資料5-1・2・3】  
「支援活動マニュアル」の策定に向けて【資料5-4】  
宮林さん報告：今年度開催会議の日程の（6/10, 9/9, 12/5, 3/11）報告と今年度体制報告  
伊東弁護士作成のマニュアルが発表され、内容については、どの土業の方が対応するか  
など、具体例を想定して書かれている。  
今後担当責任者同士で意見交換を通じてマニュアルを詰めていく。
8. 全国女性建築士連絡協議会 山形大会発表について[河原さん、深谷さん] 【資料6】

要旨集全6ページの紹介  
7/8ミニ勉強会、全建女モードでの発表練習（25分）
9. 委員会ホームページについて[深谷さん]
10. 令和7年度委員会活動についての確認
  - ・応急危険度判定、災害時建築相談員の登録増強。キャラバン隊からの移行促進
  - ・県、市町との連携、伝達訓練の実施

□ 次回委員会 令和7年7月8日（火） 場所：建築士会会議室及びWEB併用会議 18時30分より